

紀の川市教育課程検証委員会 ワーキング

日 時 平成29年2月2日(木) 午後5時30分から
場 所 紀の川市役所本庁舎4階 402会議室

次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

委員の皆様今晚は、紀の川市教育課程検証委員会ワーキングにご出席いただき、ありがとうございます。

先日、事務局から本日の開催通知に同封して、会議資料として答申(案)が届いたことと思います。

本日は、その答申(案)について委員の皆様から頂いたご意見を基に、答申を完成させたいと思いますので、ご審議よろしくお願いいたします。

3 作 業

- (1) 紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての答申の作成

〈事務局〉 それでは、先日お届けしました答申(案)に対するご意見を集約した答申(案)を用意していますので、ご覧ください。

修正箇所を確認しながら説明させていただきます。

【修正箇所を説明】

以上で、紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申(案)について、事務局からの説明を終わります。

〈委員長〉 ただいま、「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について答申(案)」について、事務局から説明を受けました。

それでは、事務局からの説明を基に委員の皆様と審議したいと思います。委員の皆様からご意見をお願いします。

【委員からの意見】

4頁の「校長の裁量により」の記述は削除すべきです。

5頁の下から3行は行の始まりがずれているので修正が必要です。

6頁の中段の「大きな効果を果たした」は「一定の効果があつた」と修正すべきで、「子供」と「定期テスト」の表記は統一するべきです。

7頁の上段の「当初予想されたような『軽減』とは反対に『増加』している状況にあると考えられる。」は「学校行事が増加していることもあり子供と向き合う時間の増加は期待したほどではなかった。」と修正すべきです。また、「子供」と「自由記述」の表記は統一すべきです。

8頁も「子供」と「自由記述」の表記は統一すべきです。

9頁の上段の「2学期制の導入は、授業日数確保に大きな効果を果たし、制度導入は大きな意味があった。」は「授業時数確保に一定の効果がみられた。」と修正すべきです。

10頁の上段の「昨今の学校行事お増加や気象警報の発令などによる臨時休業が増加傾向にある中、児童生徒の授業時数を計画的に確保できるよう」は「紀の川市では、定められた授業時数を計画的に確保できるよう」と修正すべきであり、「(1)「短縮の継続」について」の見出しの字体をゴシック体に統一すべきです。

11頁のグラフの単位を「件」に変更すべきです。

12頁の下段の「困難でありことや」は「困難であることや」に修正すべきです。

13頁の「(3)「短縮の継続」ディメリット」の見出しの字体はゴシック体に統一すべきです。

15頁の複数回答可の質問に対するグラフは、円グラフではなく棒グラフ表示にするべきです。

16頁も複数回答可の質問に対するグラフを棒グラフ表示に変更すべきで、「授業時数」の語句の統一修正及び「割合」を「保護者」に変更することが必要です。

17頁は「授業時数」の語句の統一が必要で、中段の「前半が部活動などの大会で過密スケジュールであることへの対応から、後半に休養や次学期の準備などに係る一定の時間が必要であるという意見や、教員の授業力向上のため」を「前半が部活動などの大会で過密スケジュールであるため、後半に休養や授業再開の準備などに要する一定の時間が必要であるという意見や、教員については授業力向上のため」に変更することが必要です。

〈委員長〉 ご審議いただきありがとうございました。

それでは、委員の皆様へ審議していただきました内容に修正してまとめまして、「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方についての答申」とさせていただきたいと思っております。

4 事務連絡

〈委員長〉 次回の日程について事務局から説明願います。

〈事務局〉 次回の第4回紀の川市教育課程検証委員会は、教育長に「紀の川市立小中学校の学期制及び長期休業期間の短縮のあり方について」答申する予定であります。2月16日午後5時30分から、この402会議室で開催しますので、委員の皆様にはご出席よろしくお願います。

〈委員長〉 次回の会議日程について、説明がありましたが、委員の皆様のご出席よろしくお願います。

5 閉 会

〈事務局〉 以上を持ちまして紀の川市教育課程検証委員会ワーキングを閉会したいと思います。お疲れ様でした。